

空に、彩りの光を

浦添市立港川中学校二年 池原 生恵

打ち寄せる波の音に、
私は耳を澄ませる。
全身で風を感じる。
青空の下、一層輝きを増す海は
碧いグラデーションを見事に描く。
潮の匂いを、胸いっぱい吸いこんだ。
こんなに美しい景色があったのか：

空を、見上げる。
『空はどこまでもつながっている』
私は思う。
どこへ行っても
空は常に、私に上にある。
空には国境なんてない。
どんなに高い柵を築いても
どんなに厳しい警備をしても。
空にはそんなもの、関係ない。

みんな、同じ空の下で生きている。
空はいつの時代も、見つめてきた。
ちっぽけな人間が、殺し合う。
泣き叫び、逃げ惑う。
町は焼きつくされた。
地獄絵図のような光景を、
空はいつだって、無言で見つめていた。

私達は、汚した。
あんなに綺麗な海を。
生命の鼓動に満ちた、この大地を。
これほどに澄んだ空に
轟音を響かせ、戦闘機が飛ぶ。
人は過ちを繰り返す。
今でも、ずっと：
空はいつも、無言で見つめている。

私達は、光だ。
この世に生きる、全ての生命が

希望と可能性に満ちた、光だ。
色も、輝く強さも違う。
私も、一つの色をもった光だ。
あなたも、この世界に一つだけの光だ。
人は試行錯誤しながら、
自分らしく生きていく。
この世に同じ人間は、
たった一人として、いないから。
違う色の輝きを、認め合っていこう。

私達は、考える必要がある。
平和とは何か。
戦争はどうして起こるのか。
世の中できごとくに目を向け、
「自分はこう思う」と
しっかりと意志を持ちたい。
私はあまりに幼く
人生経験も乏しいけれど、
これから創るのは
今、この時代を生きる
私達しかいないのだから。
研ぎ澄まされた感性で
揺らぐことのない強い信念をもって
沖繩を、日本を、世界を、地球を
見つめたいと思う。
感じたいと思う。
そう生きられるようになりたいと、
私は強く願う。

空に架かる虹のように、
たくさん人の想いが
豊かな色のグラデーションとなって
空を彩る平和の光。
今、この日々を大切に生きて、
愛と夢にあふれる心をもって、
未来へと繋げていこう。